感推第２９９号の２
令和８年８月１４日

一般社団法人岐阜県医師会長　様

岐阜県健康福祉部感染症対策推進課長

令和８年度ＨＩＶ感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の
環境整備事業の実施について（依頼）

このことについて、公益財団法人エイズ予防財団、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が連携し、下記のとおり実施します。

つきましては、貴会会員及び関係機関への周知に御配慮いただくようお願いします。

記

１　実地研修事業

(1) 概要

訪問看護師や訪問介護職員等を対象とし、エイズ中核拠点病院においてＨＩＶ感染症／エイズ及びＨＩＶ看護・ケア等に係る研修を行い、在宅しながら安心して医療・介護が受けられる環境の整備を図る。

(2) 研修内容

ＨＩＶ感染症／エイズに関する知識・技術の習得、外来診療現場の見学、カンファレンスへの参加等

(3) 実施期間

受講希望者、実地研修施設と協議のうえ、令和９年３月１０日までの期間内で実施日を決定し、最低６時間の研修を実施する。

(4) 実地研修施設

岐阜大学医学部附属病院

(5) 受講対象者及び人数

訪問看護師、訪問介護職員等

人数は、実地研修施設と協議のうえ決定する。

No. 3552
R8.8.17
岐阜県医

(6) 経費等

以下の費用を、予算の範囲内においてエイズ予防財団が負担する。

① 研修期間の受講者代替要員費　　16,800円／日

② 受講者派遣旅費（受講者に支給）　エイズ予防財団旅費規程による

(7) 受講申込み先

岐阜県健康福祉部感染症対策推進課感染症対策係　　担当：湯浅

ＴＥＬ：０５８－２７２－１１１１　（内線３３５３）

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

締め切り：令和８年１０月３１日までに別添「受講者調書」を御提出ください。

2　支援チーム派遣事業

(1) 概要

在宅医療・介護における困難な事例に対応する医療機関等（病院（エイズ治療拠点病院を除く。）、診療所、訪問看護事業所、訪問介護事業所及び居宅介護事業所等をいう。以下同じ。）の要請に基づき、ＨＩＶ医療の専門的知識を有する支援チームを派遣し、地域のＨＩＶ医療の環境整備を支援する。

(2) 支援チーム

岐阜大学医学部附属病院

(3) 派遣の要請の対象

次のいずれかの医療機関等を対象とする。

① 在宅医療・介護を行っている医療機関等が、患者等に対する医療・介護の提供に際し、引き続き在宅での療養を継続する上で支援を必要とする場合

② 近日中に患者等に対し在宅医療・介護を提供する予定のある医療機関等が、患者等の受け入れに際して支援を必要とする場合

(4) 申し込み・問い合わせ先

公益財団法人エイズ予防財団　支援チーム派遣担当宛

〒101-0064　東京都千代田区神田猿楽町２－７－１　ＴＯＨＹＵビル３階

ＴＥＬ：０３－５２５９－１８１１　ＦＡＸ：０３－５２５９－１８１２

ＵＲＬ：http://api-net.jfap.or.jp/lot/supportTeam.html

所　属	感染症対策推進課感染症対策係		
係　長	宮　川	担　当	湯　浅
住　所	〒500-8570　岐阜市薮田南２－１－１		
電　話	058-272-1111 代表（内線3353）		
ＦＡＸ	058-278-3550		
E-Mail	yuasa-noriko2@pref.gifu.lg.jp		

別紙（3）

HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業

実地研修受講者調書

令和　　年　　月　　日

公益財団法人エイズ予防財団
　理事長　白　阪　琢　磨　　様

事業所名

代表者氏名

HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業（実地研修）の受講者について、下記のとおり通知いたします。

受講者氏名	
受講者職種 (該当するものに○)	看護師 ／ 訪問介護員 ／ 介護支援専門員 ／ その他（　　）
受講者連絡先	電話：　　（内線　　） E-mail:
所属機関住所	〒
事務担当者	氏名： 部署名・役職名： 電話：　　（内線　　） E-mail：